

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]	
1	一般	11	1	233防災対策の強化	土木施設災害復旧に要する経費	企画財政課			①予期しない災害等により被災した市が管理する土木施設の復旧作業やこれに伴う予算の確保を行うもの ②今後30年以内に70%の発生確率とされている首都直下型地震など、常に災害に対する備えは必要である。	0	0	6精査・検証	①予期せぬ災害に対応するため確実に対応していく ②対応が必要になった場合に、適切な対応を行っていく	3	
2	一般	2	1	11	233防災対策の強化	防災対策に要する経費	安全対策課	○	①防災体制の充実を図るため、地域防災計画に基づき総合防災訓練の実施や物資の備蓄の推進等を行う。 ②各種災害に対して迅速な対応が求められており、ハード面においても計画的な整備が必要である。	9,225	17,440	6精査・検証	①鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、計画的に防災体制を強化することが求められているため。 ②東日本大震災での課題や教訓を反映させた平成25年度末に修正した地域防災計画に基づき、減災、自助、共助、災害時要援護者に対する支援や男女共同参画の視点を取り入れた対策の見直しを行う。	18,140	
3	一般	2	1	11	233防災対策の強化	防災行政無線管理運営に要する経費	安全対策課	○	①防災行政無線は、災害時における情報伝達手段であり、適切に運用できるよう平常時から整備を行うものである。 ②住宅の高層化や部屋の高気密化などにより、放送が聞き取りづらくなるなど住民からの問い合わせがある。	16,445	18,199	6精査・検証	①災害時の情報伝達は重要性を増しており、地域公共団体の果たす役割として欠かせない。 ②防災行政無線等の情報伝達手段について、いつ発生するかわからない災害に備えて、適正に維持管理していく。また、市民から、放送が聞き取りづらいなどの問い合わせについては、保守点検業者と協議しスピーカーの向きなどの変更を行い、改善を図り、適切な管理運営のため保守点検を行う。	27,858	
4	一般	2	1	11	233防災対策の強化	危機管理に要する経費	安全対策課		①鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備等を進める。 ②地震や風水害など自然災害への防災体制の整備に加え、新たな危機に対する対応力の強化が求められている。	2	0	6精査・検証	①危機管理指針に基づき、危機管理体制の構築を推進する必要があるため。 ②継続的に危機事案に基づくマニュアルの策定を推進する。	120	
5	一般	2	1	11	233防災対策の強化	避難所備蓄倉庫整備事業	安全対策課	○	○	①鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、避難所に必要な物資を備蓄する。 ②いつ発生するか分からない大災害に備え、早急に備蓄品の整備が求められている。	51,971	83,027	6精査・検証	①大災害の発災直後における避難所等の住民への生活支援及び援助は重要である。 ②継続して、避難所に防災備蓄品の整備を進めていく。	40,899
6	一般	2	1	11	233防災対策の強化	井戸付耐震性貯水槽整備事業	安全対策課	○	○	①市内全6コミュニティエリアに対し、残り1箇所に未整備だった南部地区の井戸付耐震性貯水槽の整備を図る。 ②現在、設計委託を進めており、完了後に特別調査、設計書の作成、本工事を行い、平成26年度末までに完了する。		8,076	6精査・検証	①飲料水の確保は重要であり、大災害の発災直後における避難所の住民や、断水した家庭への供給を行うことができる。 ②第四中学校に井戸付耐震性貯水槽を整備する。	12,399